

基本情報



【年齢】
35歳
【出身地】
東京都 板橋区
【転出元】
東京都 板橋区
【前職】
カメラマン、庭師、ギター製造
【活動時期】
R1.9～

協力隊に応募したきっかけ

手に職をつけて一生の生業を見つけたいと思いながら、右往左往していたところ協力隊制度と遭遇し、興味を持った。ものづくり、木工で収入に結びつきそうで、クリエイティブな募集を見つけたので、応募させていただくことと相成った。もともと東京を上手く使いこなせていなかったため、地方都市の住環境が合っている気がしていたというのも、理由の一つである。

今後の抱負・任期後の目標

周りの方々のおかげで、ある程度のこけし製作に関する技術と知識を身につけることができた。今後は「シンプルな木の人形」の魅力を伝える宣教師的な役割を為し、これまでにターゲットにされていない趣味嗜好の人たちに向けたこけしも作るとともに、他のカルチャーとの融合を図る試みもしていきたい。要約すると、精進して自身のこけしをもっと売りたい。

活動内容

●創作こけしの技術習得

こけし製作に使用する機械や道具の扱いの習得。木工ろくろは使用する刃物を作るところからはじまり、習得に時間を要する。海外式の木工ろくろであるウッドターニング技術も取り入れ、日本のろくろでは難しい加工も行えるようになった。また、仏像彫刻の技術も学び、こけしの製作に落とし込もうと鍛錬中である。



●こけしコンクールへの出品

こけし製作者として、また協力隊としての発表の場でもある、コンクールへの出品も重要な活動である。群馬の近代こけしコンクールでは関東経済産業局長賞や群馬県知事賞など、割と聞こえがいい感じの賞を受賞させていただいた。全日本こけしコンクールでもギリギリの入賞を果たした。コンクール作品は予想の斜め上を狙いがちである。



●オリジナルこけしの販売

任期後の生計を立てるために最も重要な活動である。クラフトフェアに参加したり、ふるさと納税の返礼品に使っていただいたり、県施設に置いてもらったり、地元企業のクラウドファンディングのお返しに使っていただいたりと、こけし作家として知名度を上げるために奔走する。最近の自信作イエスちゃんガチャは好評だと思いたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) yuya.ohno.photograph@gmail.com
(電話番号) 0279-22-2596 (渋川市役所商工振興課)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram (伊香保こけし創作室)
https://www.instagram.com/shibukawa_kokeshi/
ホームページ <https://www.ikaho-kokeshi.com/>